

反映の確認

作者： admin

2020年 2月 07日(金曜日) 19:16 - 最終更新 2020年 10月 01日(木曜日) 15:53

サブドメインとNSレコードの情報が反映されているか確認します。

NSレコードの指定完了後、しばらく時間をおいてから、DNSチェックサイトなどにアクセスします。ここでは [CMANのDNSチェックサー](#)
[ビス](#) を利用した例で説明します。

フォームに以下のように入力します。

- ホスト名 : 今回用意したサブドメイン (ワイメールに持ち込むサブドメイン)
- オプション : NS
- DNSサーバ : レジストラのネームサーバのうちいずれか1つ(※)

The image shows a web form for DNS configuration. At the top, there are three tabs: '自動設定' (Automatic), '履歴から選択' (Select from history), and '現在のIPアドレス' (Current IP address). The main form is divided into three sections, each with a red box highlighting a specific input field:

- Section 1:** 'ホスト名(FQDN)を指定してください' (Please specify the host name (FQDN)). The input field contains 'mag.'.
- Section 2:** 'オプション(任意)' (Optional). A dropdown menu is set to 'NS : 正式なネームサーバ' (NS: Official name server). Below it is a checkbox for 'debugモードを使用する' (Use debug mode), which is currently unchecked.
- Section 3:** 'DNSサーバを指定する場合(任意)' (Optional, specify DNS server). The input field contains '01.dnsv.jp'.

Below the form, there are three orange downward-pointing arrows indicating a flow or sequence.

※上の例ではお名前.comのネームサーバ (01.dnsv.jp) を指定しています。この部分はお客様

反映の確認

作者： admin

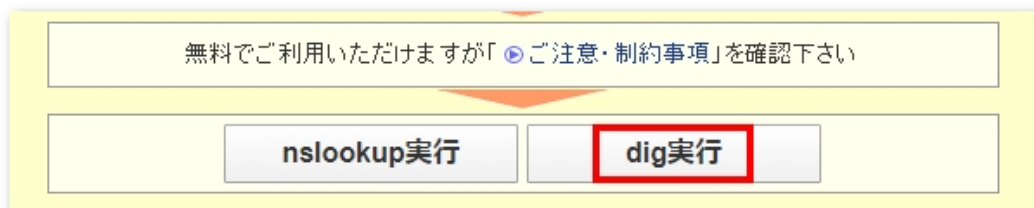
2020年 2月 07日(金曜日) 19:16 - 最終更新 2020年 10月 01日(木曜日) 15:53

の環境に合わせて適宜変更してください。

※お客様ご自身で既存ドメインのDNSを管理されている場合はそのネームサーバ名を入力してください。



「dig実行」をクリックします。



結果が表示され、「AUTHORITY SECTION」に、

- サブドメイン名. “TTL秒数” IN NS ns1.y-ml.com.

反映の確認

作者: admin

2020年 2月 07日(金曜日) 19:16 - 最終更新 2020年 10月 01日(木曜日) 15:53

- サブドメイン名. "TTL秒数" IN NS ns2.y-ml.com.
- サブドメイン名. "TTL秒数" IN NS slave1.igreks.co.jp.

という表示があれば、正常に反映されています。

発行した コマンド	<code>dig NS @01.dnsv.jp mag. [REDACTED]</code>
結果	<pre>;; <<> DiG 9.11.4-P2-RedHat-9.11.4-9.P2.el7 <<> NS @01.dnsv.jp mag. [REDACTED] ;; (1 server found) ;; global options: +cmd ;; Got answer: ;; ->HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 16255 ;; flags: qr rd; QUERY: 1, ANSWER: 0, AUTHORITY: 3, ADDITIONAL: 1 ;; WARNING: recursion requested but not available ;; OPT PSEUDOSECTION: ;; EDNS: version: 0, flags:; udp: 4096 ;; QUESTION SECTION: ;mag. [REDACTED] IN NS ;; AUTHORITY SECTION: mag. [REDACTED] 86400 IN NS ns1.y-ml.com. mag. [REDACTED] 86400 IN NS ns2.y-ml.com. mag. [REDACTED] 86400 IN NS slave1.igreks.co.jp. ;; Query time: 2 msec ;; SERVER: 157.7.32.53#53(157.7.32.53) ;; WHEN: Mon Feb 10 16:03:38 JST 2020 ;; MSG SIZE rcvd: 119</pre>
応答結果	digコマンドが終了しました。
応答時間	0.022秒

※大文字小文字は問いません。また3つの順番は入れ替わっていても問題ありません。

※レジストラによっては、反映されるまで最大で24時間ほどかかる場合があります。上記と異なる結果となった場合は、反映待ちの状態か、NSレコードの指定方法が誤っている可能性があります。



反映の確認ができれば、自社ブランド化の準備はすべて完了です。お疲れさまでした！

さっそく [ワイメール](#) にの申し込みをしましょう！

メール配信システムはメリットがたくさん！無料お試しはワイメール

メール配信サービスを利用すれば、大量の顧客に対してのメール配信をはじめ、数万規模のメールを一斉に送信できるため、効率的な情報伝達が可能になります。メールは顧客を効果的に獲得する大切なツールです。

「読者が増えない...」「反応が薄い...」という悩みをお持ちの場合、メール配信サービスを上手く活用できていないのかもしれません。多くの方に読んでもらえ、反応しやすい内容のメールを作成して、ターゲットに合った配信ができるメール配信システムで高い集客率につなげましょう。

ワイメールでは、配信数・読者登録数・ストーリー作成数が無制限の配信ツールで、独自に開発したIDMSを搭載。このIDMSによって、サーバーコストを最小限に抑えたまま、一時間あたり最大約4~6万通のメール配信を可能にしています。

Y-MAIL

14日間無料お試し

お申し込み

お問い合わせ

よくある質問